

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 菊池 隆		
健福-43	実施事業	がん検診事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳~38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。 がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	335,123	310,849	当初予算(千円)	418,138		
	国県支出金	10,030	4,494	国県支出金	4,974		
	地方債	0	0	地方債	0		
	その他	0	0	その他	0		
	一般財源	325,093	306,355	一般財源	413,164		
	人員配置数	4.3	4.3	人員配置数	2.8		
	人件費(千円)	33,244	33,891	人件費(千円)	21,724		
事業経費運営	総事業費(千円)	368,367	344,740	総事業費(千円)	439,862		
	市民1人当りの経費(円)	2,087	1955	市民1人当りの経費(円)	2,493		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	がん等の早期発見・治療のため、平成31年度も前年度と同じ健診内容とし、予算規模は現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成29年度から前立腺がん検診を導入し、予算規模が拡大したが、平成31年度は前年度から変更がないため、現状維持とした。また、国の動向をみながら、次年度以降もがん検診の内容について検討し、受診率向上のために周知を図っていく。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のため、引き続き、鎌倉市医師会と、受診しやすい環境を整えるための協議、検討を行っていく必要がある。 ・健診を受診することでポイントを付与するなどICT健康づくり事業と連携しながら、市民が健康づくりに関心を持てるよう推進していく。 	
課題解決のために行った平成30年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな検診の追加や受診再勧奨等、今後の健診について協議、検討を行った。 ・健診を受けた方にポイントを付与し、受診率向上を図った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上のため、受診再勧奨の実施や自己負担金の見直し等について検討する必要がある。 ・引き続きICT健康づくり事業と連携し、市民が健康づくりに関心を持てるように働きかけていく。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成27年度大腸がん検診受診率(平成30年度神奈川県調査)									
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	厚木市	大和市	
他市実績	35.1%	8.0%	42.7%	24.8%	39.9%	21.9%	16.2%	30.0%	24.2%	
比較事項	平成27年度肺がん検診受診率(平成30年度神奈川県調査)									
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	厚木市	大和市	
他市実績	36.6%	26.2%	45.7%	26.1%	40.4%	12.6%	21.4%	33.8%	20.1%	
比較事項	平成27年度子宮頸がん検診受診率(平成30年度神奈川県調査)									
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	厚木市	大和市	
他市実績	21.8%	23.6%	26.8%	21.0%	27.2%	15.5%	24.0%	28.4%	31.9%	
比較事項	平成27年度乳がん検診受診率(平成30年度神奈川県調査)									
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	厚木市	大和市	
他市実績	25.1%	10.9%	20.1%	16.2%	14.3%	15.4%	23.0%	17.3%	25.1%	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	胃がんリスク検診、前立腺がん検診ともに、厚生労働省が定める国の指針にない検診だが、近隣市でも実施している。鎌倉市においても、がんの早期発見・早期治療につなげるため、今後も実施していく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	大腸がん検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率			
大腸がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0				
	実績値	32.7	35.2	32	31.4	31.1					
	達成率	65.4%	70.4%	64.0%	62.8%	62.2%					
指標の内容	肺がん検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率			
肺がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0				
	実績値	34.6	36.4	34.5	34.1	33.7					
	達成率	69.2%	72.8%	69.0%	68.2%	67.4%					
指標の内容	胃がん(H26年度)及び胃がんリスク(H27年度以降)検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)						単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率			
平成27年度からリスク検診を実施。受診率の推移を把握し、リスク検診導入の効果を確認するため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0				
	実績値	8.6	32.3	13.5	10.5	9.1					
	達成率	17.2%	64.6%	27.0%	21.0%	18.2%					

指標の内容	子宮頸がん検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率		
子宮頸がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値	20.9	20.7	22	21.4	21				
	達成率	41.8%	41.4%	44.0%	42.8%	42.0%				
指標の内容	乳がんマンモグラフィ検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率		
女性がんのうち、がん発見数が多い乳がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値	23.4	22.9	25.7	24.9	24.6				
	達成率	46.8%	45.8%	51.4%	49.8%	49.2%				
指標の内容	前立腺がん検診受診率（受診率:受診者数/国のがん検診対象者数）					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は、国が目標としているがん検診受診率		
平成29年度から前立腺がん検診を実施。受診率の推移を把握し、導入の効果を確認するため。	目標値	—	—	—	50.0	50.0	50.0			
	実績値	—	—	—	35.2	22.9				
	達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	70.4%	45.8%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>胃がん検診は、平成26年度までX線(バリウム)検査による胃がん検診を実施していた。しかし、X線撮影は、受診者の身体への負担が大きく、他のがん検診に比べ受診率も低かったため、平成27年度から採血検査によるリスク検診を導入した。平成28年度の受診率は、リスク検診を導入した平成27年度よりも減少したが、X線(バリウム)検査を実施していた平成26年度よりも高く、がん発見者数も平成26年度に比べ倍増しており、リスク検診を導入した効果があったと考えている。</p> <p>平成28年度の乳がん検診は、前年度よりも受診率が微増程度に留まったが、がん発見数が多いため、今後も受診率向上に努めていく必要がある。</p> <p>平成29年度に導入した前立腺がん検診は、引き続き、受診率の推移を把握し、効果を検証する必要がある。</p>									